

令和4年6月4日
静岡県栄養士会定時総会



静岡県の健康課題の現状と取組 —健康寿命の延伸に向けて—

静岡県健康福祉部健康増進課 島村通子

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。 静岡県健康福祉部

栄養施策の方向性 ～活力ある持続可能な社会の実現のために～

厚生労働省健康局資料

- **栄養は**、人が生涯を通じてよく生きるための基盤であり、**活力のある持続可能な社会を実現する上での必須要素**。
- 日本は、経済発展に先立ち、日本の栄養政策の重要な要素である「**食事」「人材」「エビデンス**」を組み合わせた**栄養政策を始動**。各時代の栄養課題に合わせて発展させ、それと同じくして経済成長を遂げ、**世界一の長寿国**に。
- さらに、乳幼児期から高齢期まで全ライフコースを対象とした栄養対策と並行して、傷病者や被災者等を対象とした対策を通じて、「**誰一人取り残さない**」**栄養政策を推進**。
※ 上記の観点から、施策紹介資料において、主な対象者層を図示化（右図参照）。
- 日本の栄養政策は途上国等のロールモデルとなり得る一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大・長期化による「**経済格差に伴う栄養格差の拡大**」などの**新たな課題**に直面。
- こうした課題を含め、広範かつ困難な栄養課題に対応するには、**様々な部局と連携**しながら、着実に施策を推進し、成果を得ていくことが必要。
※ 上記の一例として、健康増進部局と福祉部局の連携による取組を紹介。
➢ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う生活の変化を踏まえた栄養・食生活支援の推進について



「日本の栄養政策」パンフレット及び動画
(健康局 健康課 栄養指導室作成)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000089299_00001.html

令和4年度の主な栄養対策予算案について

厚生労働省健康局資料

※ () 内は、令和3年度予算額

1. 健康的で持続可能な食環境づくりの推進

- 活力ある持続可能な社会の実現に資する栄養・食生活の推進事業 <予算：55百万円(新規)>
- 東京栄養サミットを契機とした国際貢献に向けた調査事業 <予算：47百万円(47百万円)>

2. 科学的根拠に基づく基準等の整備・普及

- 国民健康・栄養調査の実施 <委託費 予算：218百万円 (313百万円) >
- 健康日本21 (第二次) 分析評価事業の実施 <予算：38百万円 (38百万円) >
委託先：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
- 食事摂取基準等の策定 <予算：10百万円 (10百万円) >

3. 管理栄養士等の養成・育成

- 実践領域での高度な人材育成の支援 <予算：10百万円(10百万円)、委託先：公益社団法人日本栄養士会>
- 管理栄養士国家試験の運営、管理栄養士等の資質確保 <予算：59百万円(62百万円)>
- 特殊な調理に対応できる調理師研修事業 <予算：30百万円(30百万円)、補助先：公益社団法人調理技術技能センター>

4. 地域における栄養指導の充実

- 栄養ケア活動支援整備事業の実施 <予算：20百万円 (30百万円)
補助先：民間団体(公募) 令和3年度事業採択数：4事業>
- 糖尿病予防戦略事業の実施 <予算：37百万円(37百万円) 補助先：都道府県等 令和3年度内示数：53自治体>

3-

静岡県の「健康寿命」の状況

前回との比較

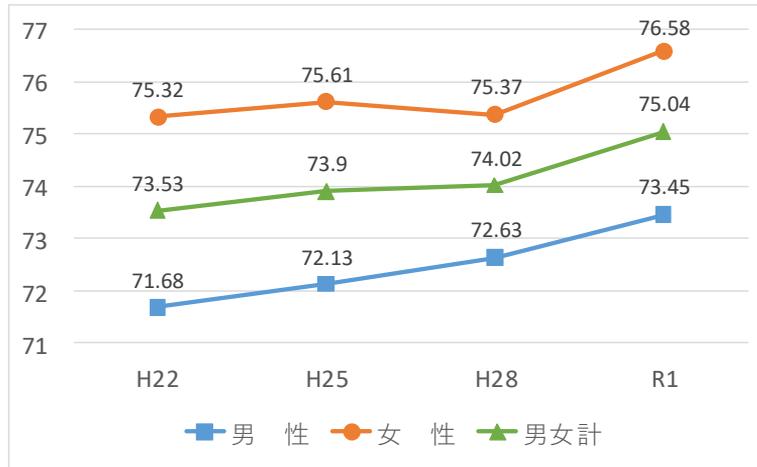
- ・男性が、73.45歳 (+0.82歳)、全国順位5位 (前回6位)
- ・女性が、76.58歳 (+1.21歳)、全国順位5位 (前回13位)
- ・男女計では、75.04歳 (+1.02歳)、全国順位5位 (前回6位)

	H22 (2010) 年		H25 (2013) 年		H28 (2016) 年		R1 (2019) 年	
	静岡県	全国平均	静岡県	全国平均	静岡県	全国平均	静岡県	全国平均
男性	71.68 (2位)	70.42	72.13 (3位)	71.19	72.63 (6位)	72.14	73.45 (5位)	72.68
女性	75.32 (1位)	73.62	75.61 (2位)	74.21	75.37 (13位)	74.79	76.58 (5位)	75.38
男女計 (本県算出)	73.53 (1位)	72.13	73.90 (2位)	72.74	74.02 (6位)	73.50	75.04 (5位)	74.07
公表時期	H24.6		H27.12		H30.3		R3.12	

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

「健康寿命」の推移

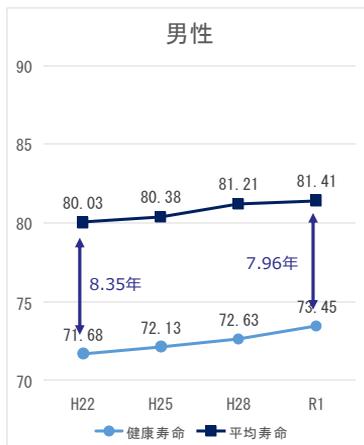


いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

健康寿命と平均寿命の推移

静岡県の健康寿命と平均寿命は年々伸びている。



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

他県の状況

	男女計		男性		女性	
		前回順位 健康寿命		前回順位 健康寿命		前回順位 健康寿命
1位	大分県 75.30歳	22位 73.56歳	大分県 73.72歳	38位 71.54歳	三重県 77.58歳	3位 76.22歳
2位	三重県 75.29歳	5位 74.10歳	山梨県 73.57歳	1位 73.21歳	山梨県 76.74歳	2位 76.22歳
3位	山梨県 75.19歳	1位 74.75歳	埼玉県 73.48歳	2位 73.10歳	宮崎県 76.71歳	25位 74.94歳
4位	宮崎県 75.11歳	21位 73.58歳	滋賀県 73.46歳	17位 72.30歳	大分県 76.60歳	12位 75.38歳
5位	静岡県 75.04歳	6位 74.02歳	静岡県 73.45歳	6位 72.63歳	静岡県 76.58歳	13位 75.37歳

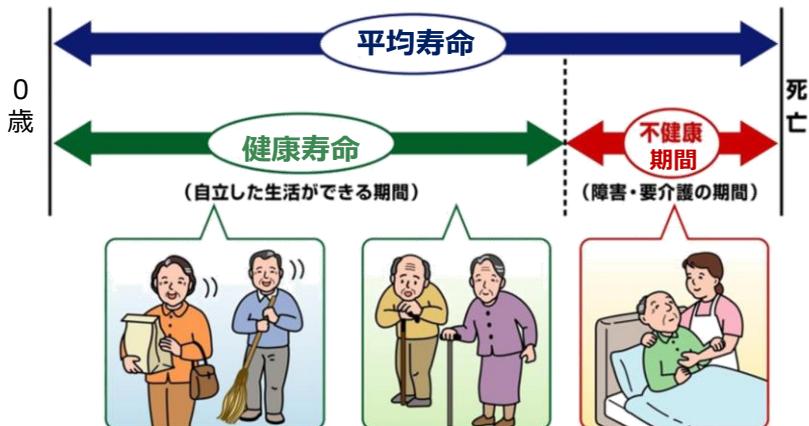
※ 前回順位・健康寿命の男性、女性の値は、第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料より。男女計は、本県算出値。

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

「健康寿命」の考え方

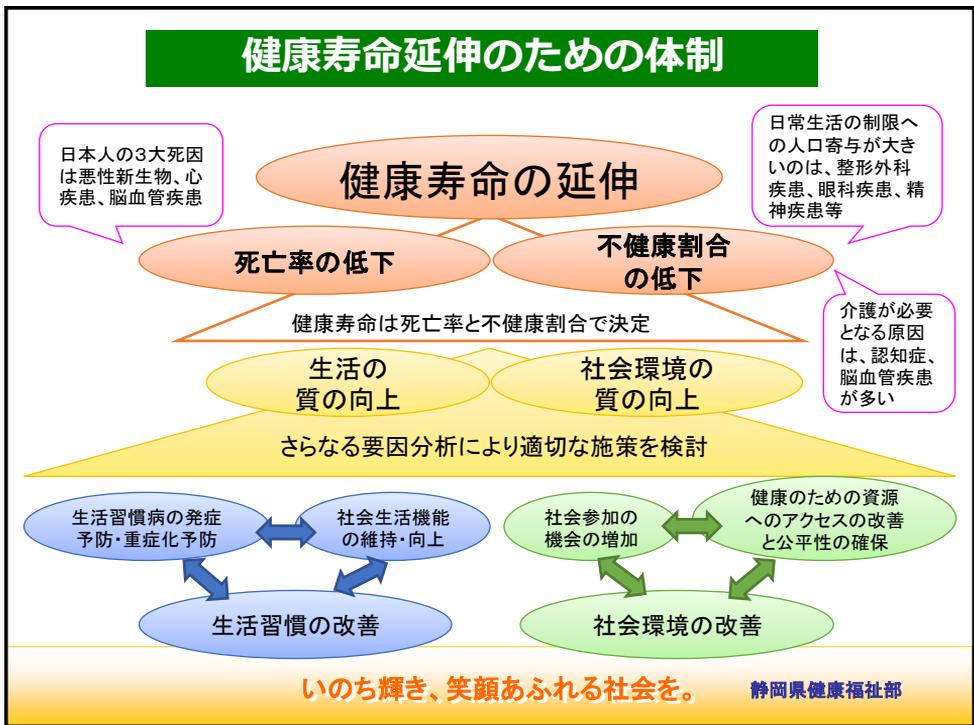
健康上の問題で
日常生活が制限されことなく生活できる期間



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

健康寿命延伸のための体制

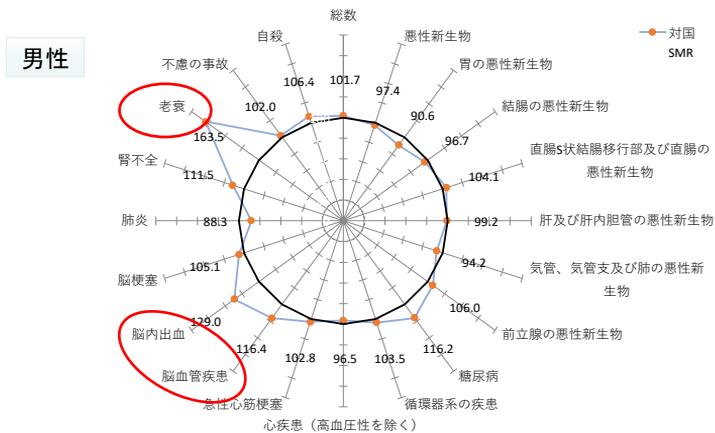


いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

「死亡」の状況

標準化死亡比 (SMR) (H27-R1)
 静岡県の男性は、**脳血管疾患 (脳内出血)**、**老衰**のSMRが高い。

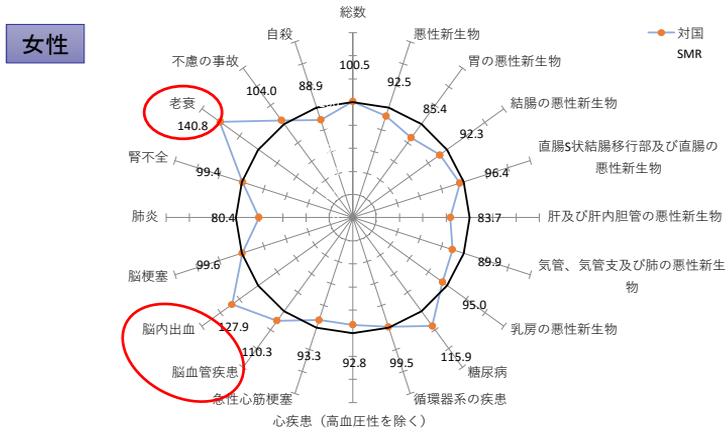


SMRは、人口構成の違いを除去し、ある基準となる集団の死亡率を100とし、比較する対象の死亡率がどの程度の大きさであるかを示したものである。集団間の比較に用いる。100より大きいときは対象の死亡状況が基準集団より悪いことを意味する。

「死亡」の状況

標準化死亡比 (SMR) (H27-R1)

静岡県の女性は、**脳血管疾患 (脳内出血)**、**老衰**のSMRが高い。



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

特定健診分析結果

メタボリックシンドローム

該当者割合の推移

平成25年度			平成28年度			平成30年度		
順	都道府県	該当者%	順	都道府県	該当者%	順	都道府県	該当者%
1	静岡県	12.67	1	岐阜県	13.30	1	静岡県	12.67
2	岐阜県	12.89	2	静岡県	13.36	2	東京都	12.89
3	山梨県	12.99	3	東京都	13.62	3	京都府	12.99
4	長野県	13.21	4	京都府	13.71	4	岐阜県	13.21
5	佐賀県	13.31	5	鳥取県	13.81	5	神奈川県	13.31
全	国	14.28	全	国	14.76	全	国	15.49

令和元年度		
順	都道府県	該当者%
1	静岡県	14.41
2	岐阜県	14.44
3	東京都	14.50
4	京都府	14.62
5	神奈川県	14.90
全	国	15.85

※ 厚生労働省法定報告公表データ

H22~H25は
メタボ最小県

H26~H29は
第2位

H30~は再び最小に!

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

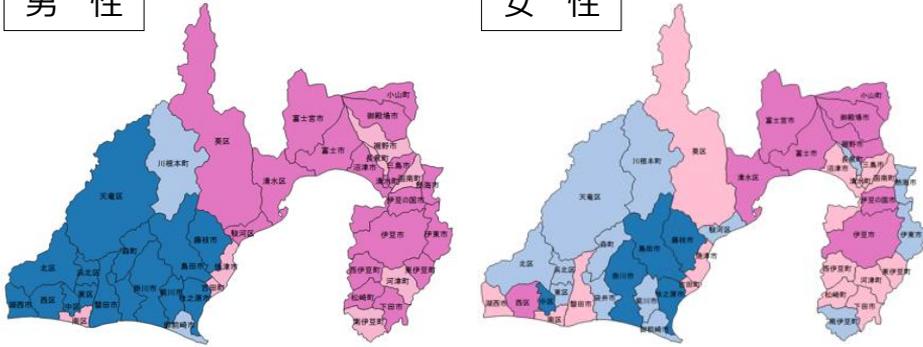
静岡県健康福祉部¹²

R1特定健診：メタボリックシンドローム該当者

男性は県東部と静岡市でメタボリックシンドローム該当者が多い

男性

女性



《標準化該当比》

死亡率、リスク因子(血糖や血圧等)や医療費等は、**高齢なほど高くなる**ため、地域間の比較や経時的な推移をモニタリングする際に**年齢を調整**して指標を算出する。

高齢の人が多い地域や高齢の人が多く受診した年があっても標準化される。

- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

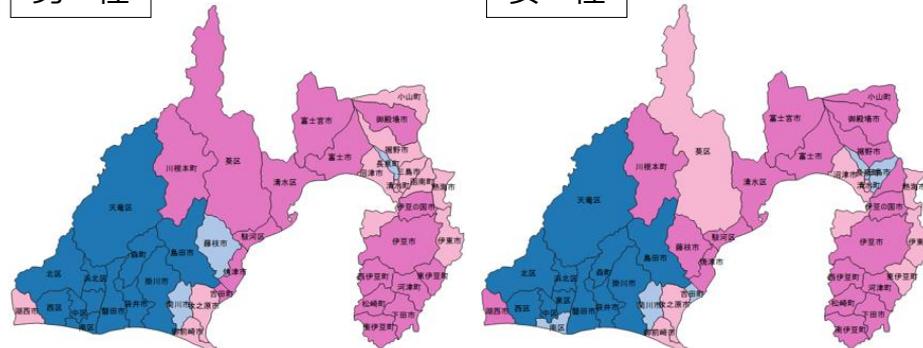
13

R1特定健診：高血圧症有病者

県東部と県中部で高血圧症有病者が多い

男性

女性



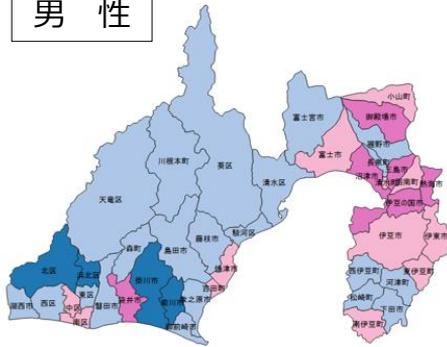
- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

14

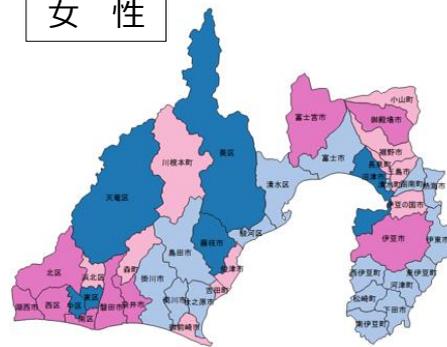
R1特定健診：糖尿病有病者

男性は県東部で、女性は県東部と県西部で糖尿病有病者が多い

男性



女性



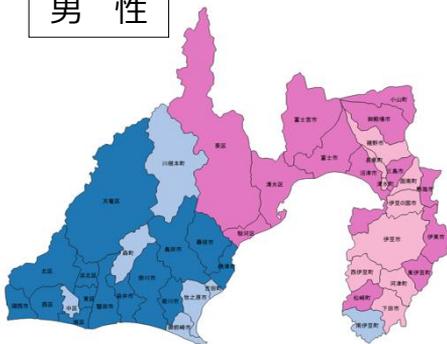
- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

15

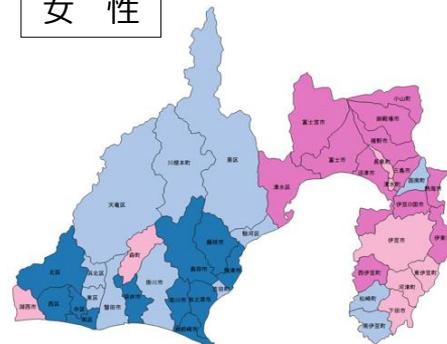
R1特定健診：脂質異常者

県東部と県中部で脂質異常者が多い

男性



女性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

16

R1特定健診：習慣的喫煙者

県東部で習慣的喫煙者が多い

男性

女性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

17

健康寿命日本一に向けたふじのくにの挑戦

「ふじのくに健康長寿プロジェクト」

①健康長寿7'プログラムの普及

運動・食生活・社会参加の3分野で生活習慣の改善に取り組む「ふじ33プログラム」の普及
減塩を目的とした「減塩55プログラム」の開発

②健康マイレージ事業

市町が定める健康づくりメニューの実践により一定ポイントを貯めた住民が、指定された協力店で各種特典を受ける仕組み

③企業との連携

健康づくりに積極的に取り組む企業のデータヘルス計画策定支援、特定健診データの分析による企業の健康づくり支援等

④健康長寿の研究

県民万人分の特定健診データの市町別・地区別分析
高齢者コホート調査結果の分析

⑤重症化予防対策

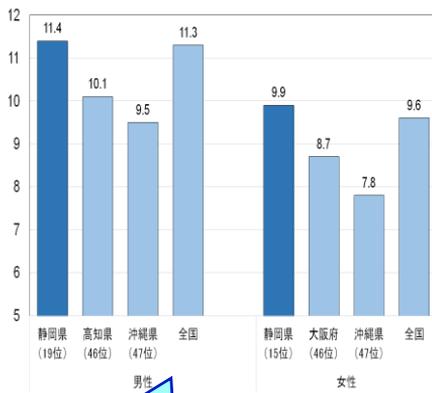
人工透析予備群の受診促進に向けた関係機関の連絡調整・体制整備
介入担当者の資質向上

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

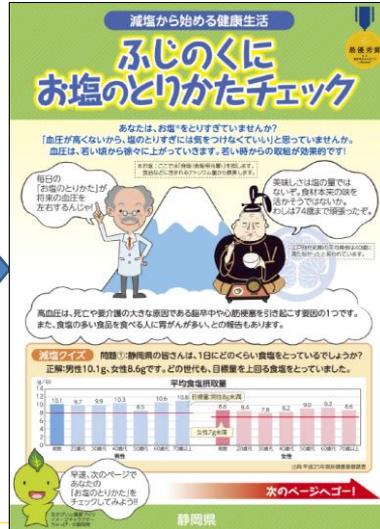
静岡県健康福祉部¹⁸

健康長寿プログラムの普及（減塩55）

全国の食塩摂取量(20歳以上)



**男女とも
食塩を
過剰に摂取**



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部 19

民間協働による健康課題解決プロジェクト

「しずおか健幸惣菜」の普及

「しずおか健幸惣菜」とは社員食堂、スーパーマーケットで提供できる主食と組み合わせることで、栄養バランスのとれた食事となる『おかず』のこと



主 菜

副 菜

一皿で主菜・副菜

	主 菜	副 菜	一皿で主菜・副菜
エネルギー (kcal)	550 kcal 未満	200 kcal 未満	450-650 kcal
食塩相当量(g)	2g 未満	1g 未満	2.7 g 未満
野菜量(g) (きのこ・海藻・いも類を含む)	付け合わせを含めて 合計50 g以上	2種類以上 合計70 g以上	2種類以上 合計120g以上
肉・魚・卵・大豆製品(g)	90-150 g	-	90-150 g

※ご飯と汁物は別です。※弁当等で提供する場合には、各区分の中で少ない分量の惣菜を複数組み合わせることでその区分の基準に該当していることが条件となります。

20

《低栄養・フレイルの予
防》『食べる』からつながる食支援ガ
イド

～地域の高齢者を多職種で連携して支えるために～



＜ガイドの対象者＞
「在宅で暮らし、要支援や要介護1～2程度で、口から食べることが可能な高齢者」に関わる介護支援専門員や訪問看護師、訪問介護員等向け

在宅で暮らす高齢者を支える専門職が、高齢者の変化に気づく。

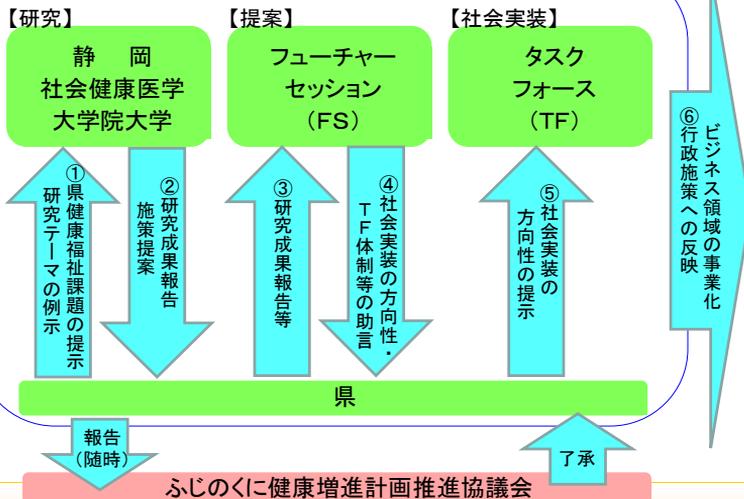
必要に応じて、管理栄養士等多職種で連携・協働し、適切な対応をとる。

＜内容＞【知る】なぜ低栄養への対策が必要？
【見つける】もしかして、低栄養かも…
【つなく】在宅高齢者の食を支える人達
【ふせく】低栄養を予防する
【事例】どう見つけて、どうつなく？

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。 静岡県健康福祉部 21

ヘルスオープンイノベーション静岡

ヘルスオープンイノベーション静岡



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。 静岡県健康福祉部 22

タスクフォース

区分	内容
野菜マシマシ タスクフォース	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧対策として、ナトリウム排泄量を増やすため、カリウム量増加を目的とした野菜適量商品入手しやすい環境をつくるため、企業と協働した取組を行う。
市町保健指導 タスクフォース	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡社会健康医学大学院大学の研究成果を市町保健指導に反映する取組を行う。
血圧測定習慣化 タスクフォース	<ul style="list-style-type: none"> ・脳血管疾患リスクがある者に行動変容を促すため、①血圧測定環境の整備、②計測を促進する仕組み、③リスクに応じたフォローアップ、の3点に着目し、事業を行う。

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部²³

血圧測定習慣化タスクフォース

《ポピュレーションアプローチの方法と期待される成果》



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

大学院大学の「研究」の特徴

- 現場での課題解決に役立つ最先端の教育研究
- 県内外の自治体と連携した多様な研究フィールド

医療ビッグデータ研究

大規模な医療・介護レポートデータや健診データの分析から、医療・介護や疾病予防における課題とその対策を見抜く。

疫学研究

地域住民コホートなど様々な人集団を対象とした疫学研究や介入研究によるリスク因子や病因の解明と、予防対策の実践・評価。

ゲノムコホート研究

ヒトの様々な疾患を対象とした原因遺伝子の解明や、ゲノム情報解析に基づく病因解明や最適な治療法の探索

質茂健康づくり大作戦

かもけん!

かもけん!とは
質茂の皆さんの健康づくりを末永く支援する新しい事業がスタートします。



5年ごとの充実した健診

普段の特定健診で行う検査に加えて、脳卒中や心臓病、フレイル、認知症の予防に大切な検査を行います。検査は無料です。
血管年齢(動脈硬化)・全身や四肢の筋肉量・骨密度
食塩摂取量・頸部MR・頸動脈や心臓の超音波画像検査



手厚い健康づくり支援

最新の健康情報の提供、家庭血圧や食塩摂取量の測定による生活習慣の改善支援、体力測定、充実した健康づくりイベントなどを通じて皆様の健康づくりを支援します。



最新の予防医学研究

健診結果を分析し、効果的な病気の予防方法や新しい検査・治療方法を開発することで、皆さんと、皆さんの子や孫の世代の健康づくりに役立てます。



名のご期待

かもけん!には、質茂にお住まいで国民健康保険(後期高齢者医療制度)に加入している40歳以上の方が対象です(無料)。詳しい内容や日程はあらかじめお知らせします。

かもけん!事業の開催場所は質茂市。実施期間が異なる場合は実施地を別記します。一部の事業は実行される前に告知がある場合があります。実施期間が異なる場合は実施地を別記します。一部の事業は実行される前に告知がある場合があります。実施期間が異なる場合は実施地を別記します。一部の事業は実行される前に告知がある場合があります。

かもけん!は、質茂市の国庫・県庫・市庫に拠る事業であり、実施期間が異なる場合は実施地を別記します。一部の事業は実行される前に告知がある場合があります。実施期間が異なる場合は実施地を別記します。一部の事業は実行される前に告知がある場合があります。

〒410-0001 静岡県静岡市清水区 静岡文化芸術大学 健康文化芸術学部 健康文化芸術学系 健康文化芸術学系 健康文化芸術学系 健康文化芸術学系

お問い合わせ かもけん!事務局 ☎ 080-4950-2614 火～土曜日 午前9時～午後5時まで

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。 静岡県健康福祉部 25

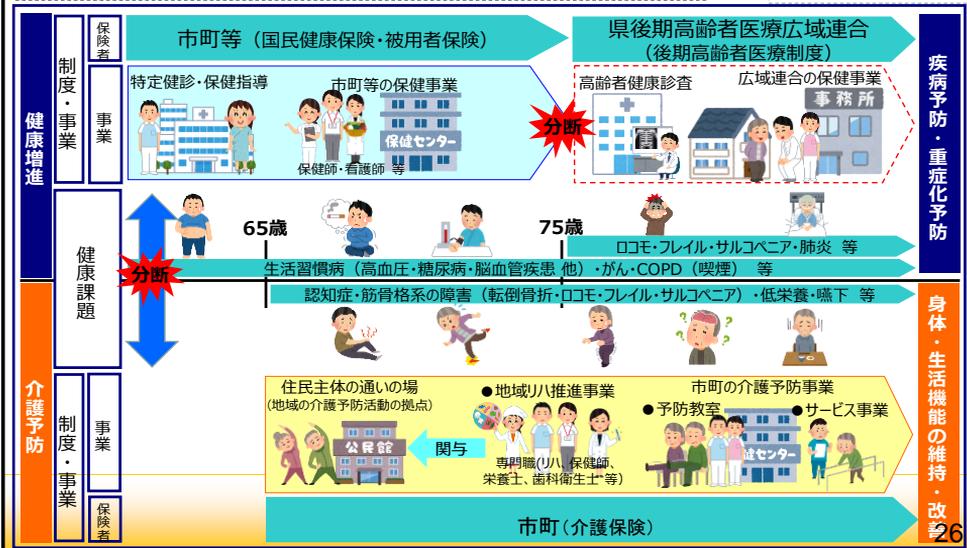
保健事業と介護予防の一体的実施 (事業背景)

■制度的な課題

- 保険制度には医療保険(国民健康保険、後期高齢者医療制度等)と介護保険があるため、事業の実施主体が制度及び年齢に応じて異なり、各事業の連携が取れていない。
- 後期高齢者の保健事業は、県全体を対象に広域連合が実施するため、取組が薄い。

■制度改正

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施



令和2年度 専門職の派遣の仕組みづくり (研修会の開催・派遣試行の実施)

令和2年度から、市町において高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施の事業が開催されたため、市町での事業を促進するため、市町事業に協力可能な管理栄養士・歯科衛生士の指導者育成研修会を開催。研修会終了後は、本研修会を修了した管理栄養士・栄養士が、通いの場等で高齢者を支援する取組を試行的に実施し、専門職による高齢者の支援を行う仕組みづくりの構築を実施。

◎ 介護予防推進指導者育成研修会

【事例報告（湖西市）】

実施期間	令和2年10月1日～10月31日	
対象者	管理栄養士・栄養士、歯科衛生士、市町・地域包括支援センター職員等	
受講者	計443名（内訳：管理栄養士・栄養士：164名、歯科衛生士：279名）	
内容	○講義「口腔管理、オーラルフレイル予防等」 歯科医師 やよい歯科医院 佐々木 優 氏 「栄養課題、低栄養も改善・予防等」管理栄養士 三島総合病院 杉山 清子 氏 ○事例報告（県内市町の取組内容） 富士宮市、川根本町地域包括支援センター、湖西市	

◎ 管理栄養士・栄養士による高齢者を支援する取組

【栄養講話（西伊豆町）】

実施期間	令和3年1月～2月	
対象者	市町・地域包括支援センター等（10か所程度）	
内容	高齢者の通いの場等に管理栄養士・栄養士が訪問し、以下の取組を実施 <主な取組内容> ・通いの場や介護予防教室等で、低栄養に関する講話を実施 ・理学療法士と連携し、フレイル予防に関する講話を実施	

本年度の専門職の派遣の仕組み（管理栄養士・栄養士、歯科衛生士）

令和3年度から、専門職向け研修会を受講した管理栄養士・栄養士、歯科衛生士が、通いの場等で高齢者の支援を行う仕組みの運用を開始しており、本年度も引き続き実施していく。

県栄養士会の栄養ケアステーション（東部・中部・西部）で管理栄養士・栄養士を、県口腔保健支援センター（県健康増進課内）で歯科衛生士をそれぞれ派遣調整する。

◎ 管理栄養士・栄養士による派遣の仕組み



◎ 歯科衛生士による派遣の仕組み



※但し、派遣費用（報償費、旅費等）については、市町の地域支援事業等で負担

28

県モデル事業の取組（下田市・河津町）

県が開催した専門職向け研修会を受講した管理栄養士・栄養士、歯科衛生士が、通いの場に介入するモデル事業を実施。通いの場に専門職を派遣し、地域の健康課題解決に向けた仕組みづくりを下田市及び河津町でモデル的に実施。住民向けのリーフレットを作成し、全戸配布を行うとともに、通いの場での管理栄養士や歯科衛生士による講話等の際にも活用。また、下田市では、オンラインによる口腔講話も併せて実施。

【住民向けリーフレット】

【管理栄養士による講話】

【歯科衛生士による講話】

【オンラインによる口腔講話】

ZOOMを活用し、東京医科歯科大学の講師（歯科衛生士）から通いの場の参加者に向けた講話を実施

静岡県健康福祉部

29

熱海市土砂災害にかかる保健師等派遣 R3.7.3発生

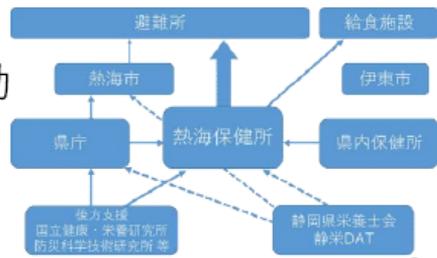


いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

保健所行政管理栄養士の活動

1. 被災保健所（熱海保健所）栄養士の活動
 - (1) 避難所における栄養・食生活支援
 - ・バイキング食利用者・弁当利用者への支援
 - ・要支援者への個別栄養相談
 - (2) 被災給食施設への支援
 - ・状況確認及び助言、避難所へ避難した施設の支援
 - (3) 県内保健所からの受援
2. 県内保健所行政管理栄養士による支援活動
 - ・健康支援チームの活動
 - ・個別栄養相談業務
3. 後方支援



本災害における栄養・食生活支援体制図 ³

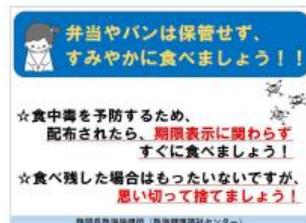
避難所における栄養・食生活支援活動（啓発）

《バイキング会場における食事の選び方の啓発》



バイキング会場入口付近にバイキング用の取り皿の形に合わせてバランスのよい食事の選び方を示したポスターを掲示。

《食中毒予防の啓発》



配付された弁当や昼食用のパンを各個室に保管してしまい、消費期限切れのものも見られたため、避難所内の至る所に食中毒予防を呼びかけるポスターを掲示。

⁴ 静岡県熱海保健所（熱海健康増進センター）
 【静岡県災害時栄養管理ガイドライン～被災者の栄養・食生活支援活動の手引き～（令和2年4月）を参考に作成

避難所における栄養・食生活面の課題と対応

項目	課題	対応
バイキング利用者	昼食がパン1つのため栄養・量ともに不足していた	・支援物資の利用（ホテルロビーで配布） ・元気な方は外食や買い出しに出る
	摂食量が把握できず、栄養の偏りや過食が心配	・食事会場にバイキングの選び方ポスターを掲示 ・心配な方は栄養相談を誘導
弁当利用者	喫食量が少なく、低栄養が心配	・提供弁当の栄養価計算、弁当利用者アンケートを実施し、弁当業者への改善提案 ・低栄養が心配される方へは栄養補助食品（栄養機能食品等）を配布
提供弁当	提供弁当の献立や食材の偏り、栄養価の偏り	・提供弁当の栄養価計算、弁当利用者アンケートを実施し、弁当業者への改善提案 ・カルシウム不足を補う飲料を弁当に添付（支援物資活用）
栄養管理	基礎疾患を有する人の摂食量把握や栄養管理が困難	・管理栄養士による個別栄養指導（訪室） ・栄養相談コーナー利用の呼びかけ（チラシ配布）
	認知症高齢者の摂食量把握や食事支援が困難	・同じ避難所に避難している民生委員に食事量のチェックや支援物資の取り寄せを依頼し、状況を確認
食中毒	昼食のパンや弁当を自室にため込み、食中毒が心配	・食中毒予防啓発ポスターを作成し、昼食パン配布場所、エレベーターホール等、目につき易い場所に掲示 ・弁当配布時に個室内に弁当が残っている場合は回収
その他	運動不足による食欲不振、肥満、便秘等	・健康相談室に体重計や血圧計を設置し、各自で測定 ・栄養相談や健康相談の積極的な利用を促す ・運動教室（支援団体実施）への参加を促す

11

マスク着用が不要な場合について

熱中症のリスクや表情が見えにくくなることによる小児の発達への懸念から、**マスク不要な場合**を明確にお示します。

- ① 屋外では、近くで会話をしなければマスクは不要
- ② 就学前の子どもには、マスクは原則不要



※ マスク着用が推奨される場合が変わることがありますので、外出時は常にマスクの携行を

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部

マスクは常に携帯しましょう！ 場合別マスク着用の参考表

周囲の人の状況 屋内/屋外	自分1人のみ	同居人のみ	同居人以外の人々 (事例の赤字は国通知の事例)			
			2m以上離れている ほとんど会話無し	ほとんど会話・発声あり	2m以内にいる ほとんど会話無し	2m以内にいる 会話・発声あり
屋内 ※1 	不要 例) 1人で部屋で過ごす	不要 例) 家族で居間で団らん	不要 例) 図書館で席を離れて座り自習	推奨 ※2 例) 離れた席でおしゃべり	推奨 例) 通勤電車・バスの中	推奨 例) 狭い会議室での会議、カラオケ、麻雀
屋外 	不要 例) 1人で散歩や自転車	不要 例) 家族でハイキング	不要 例) 静かにランニング・サイクリング・釣り	不要 例) 密にならない外遊び・テニス	不要 例) 徒歩通勤、静かな行列、野外観劇	推奨 例) 繁華街・観光地の混み、友人とBBQ、球技観戦

* 就学前の子どもには、マスクは原則不要
 * 高齢者や基礎疾患のある人、またはそのような人と接する人は、マスク着用を推奨
 * マスク着用なしで咳やくしゃみをする際は、口鼻をハンカチやそででおおう(咳エチケット)
 ※1: 車内(電車、バス、自家用車等)を含む
 ※2: 十分な換気等の感染対策をしている場合はマスクを外すことも可



いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部



静岡県の美しいふじのくに
静岡県
Shizuoka Prefecture







御清聴ありがとうございました

いのち輝き、笑顔あふれる社会を。

静岡県健康福祉部